

請願一覧（教育委員会関係）

[平成30年12月19日審査]

(審査順)

事 項	局の考え	取り扱い(案)
平成30年請願第9号 小学校給食調理業務の民間委託を撤回し給食の充実を求める件	/	/
1 子供のことを第一に考え、学校給食に係る予算をふやすこと	<p>学校給食法等により施設設備や運営に伴う人件費など調理にかかわる経費は学校設置者が負担し、その他の経費は保護者が負担することとされている。</p> <p>本市では、保護者の方に食材費相当額のみが必要最小限をご負担いただき、経済的に困りの保護者の方には、就学援助制度の利用により給食費を無料としている。</p> <p>他都市の動向を含め、情報収集に努めるとともに、有識者等による懇談会でいただいた意見も踏まえ、無償化を含む給食費や給食内容の充実など、今後の本市の給食運営のあり方について、検討していきたい。</p>	保 留
4 給食の献立をより充実させること		
5 給食費を無償化すること		
2 つくる人と食べる人が一体となって学校給食を食育の教材として充実させ、保護者にも開かれた学校給食にすること	<p>学校における食育は、学校給食を教材として給食の時間等において食に関する指導を充実し、全小学校で組織的・計画的に推進している。</p>	審査打切
3 名古屋市立小学校の給食調理業務の民間委託をせず、正規職員による直営体制に戻して、技術の継承により安全・安心でおいしい学校給食を提供すること	<p>今後も給食調理員の退職者数に対応し、安心して安全な給食を安定して提供していくために、引き続き給食調理業務の民間委託により、適切で効率的な体制づくりに努める必要がある。</p>	不 採 択

事 項	局の考え	取り扱い(案)
平成 30 年請願第 12 号 私立高校生に対する授業料助成制度の堅持・拡充を求める件		
1 平成 31 年度予算において、名古屋市私立高等学校及び私立幼稚園授業料補助に関する条例にうたわれている教育の機会均等の理念に沿って、私立高校生に対する市独自の授業料助成額を、愛知県の授業料助成額変更に伴い、これまでの算定方式に基づいて是正・増額すること	公私間格差の是正は重要な課題と考えており、引き続き県に補助対象の拡大及び補助単価の引上げを要望するとともに、厳しい財政状況の中、予算の確保に努め、今後とも現状の制度を維持していきたい。	財勘採択